

SAKURA だより

今日からスタート

校長 佐野 貴仁

本当に長かった4月、5月の2ヶ月が終わり、さいたま桜に、生徒たちの笑顔が帰ってきました。まだまだ、感染予防のため、通常の授業とはいきませんが、それでも、学校が再開できたことは、うれしいことです。

まずは、今日6月1日、一年生の入学式からスタートです。一年生の皆さん、入学おめでとうございます。4月9日にメールでお伝えし、郵送で入学許可をしましたが、今日、みなさんの顔を見ながら、入学式ができたこと、本当にうれしく思います。本校にはみなさんと会えることを楽しみに待っていた素敵な先輩・仲間、先生たちや事務室の方々がいます。みんなで素敵な学校生活にしていきましょう。

3年生は6月2日、2年生は6月3日からの登校となります。3年生は、最上級生として、2年生は、一年間の経験を活かし、みんなの良いところを発揮して、大きく成長することを願っています。先輩から引き継いだこのさいたま桜高等学校を、力を合わせてより良い学校にしていってください。

校長室に飾ってあるお気に入りの写真を少し変えてみました。ひとりひとりの良さをみつけたいと飾っていた「見えないところにヒーローはいる」から、この一か月の意気込み「ここがふんばりどき」。まだまだ、がまんをしたり、気をつけたりすることが多い日々はもう少し続きますが、チーム桜、みんなで前を向いて、ふんばっていきましょう。



新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて早早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋の長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離がオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお箸口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

新型コロナウイルスの出現に伴い、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策をこれまで以上に取り入れた生活様式を実践していく必要があります。これは、従来の生活では考慮しなかったような場においても感染予防のために行うものです。市民お一人おひとりが、日常生活の中で「新しい生活様式」を心がけていただくことで、新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種の感染症の拡大を防ぐことができ、ご自身のみならず、大事な家族や友人、隣人の命を守ることにつながるものと考えます。